

御休タウンミーティング

◆ねらい

少子高齢化が進む上道地区にとって、これからの上道を担い豊かな未来を切り拓いていくことのできる「人づくり」が喫緊の課題となっている。そこで、子どもたちの声をまちづくりに反映していく「タウンミーティング」を小学校区単位で企画し、子どもと地域住民さらに保護者、学校・地域センター・公民館の職員なども加わって、地域の抱える現状や課題、そしてこれからのまちづくりをテーマに話し合うことで、世代を越えて多様な人たちと繋がる意味ある出会いの場とした。

活動① 「御休のええとこ・気になるとこ」 ランキングクイズ

◇ええとこ

- 第1位 歴史
- 第2位 自然
- 第3位 交流

◆気になるとこ

- 第1位 安全
- 第2位 ゴミ
- 第3位 施設



連長さんの
予想も
みんなと
同じだよ



まず、各家庭で子どもたちが聞き取り調査してきた事前アンケートを、グループ内で回し読み、地域の方の意見も参考にしながら、ランキング予想をまとめ、発表していききました。

活動② アンケートを手がかりに、よりよいまちづくりに向けた提言を整理しよう

まず、事前に調査し準備していた「住みよいまちにするための提言」を付箋に書き写しながら、一人一人がシートに仕分けしていききました。シートの縦軸は「安全安心」と「明るく楽しい」というまちづくりの視点、横軸は「私たち」と「大人」という行動の主体です。提言の内容によっては、付箋をどのように仕分けたらよいか迷う場面もありました。「いろんなイベントを計画して盛り上げていけば、明るく楽しいまちにもなるし、いろんな人と顔見知りになって安全安心にもつながる」という子どもの発言に、大人の私たちが「そうか、なるほど」と感心させられる場面もありました。子どもたちの発想は本当に豊かですばらしいと感じました。



どうすれば、御休が
もっとよくなるのかな
みんなの声を集めよう

私たちが取り組めることは
大人に任せることは



活動③ 整理した提言を発表し合い、みんなで共有しよう



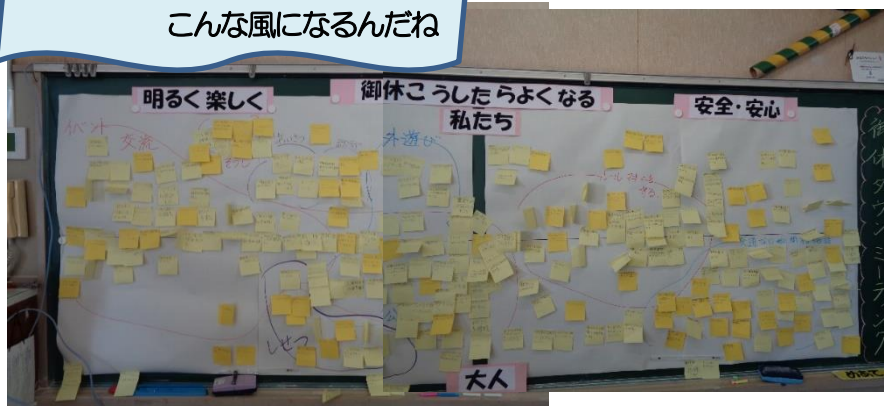
あいさつで御休を盛り上げて
いききたいな
これは大人も子どもも
取り組まなければいけないね

拡大シートや学区の
地図を使って、
分かりやすく
発表しました。



この辺りは街灯も少なく道幅も狭いし、
白線も消えかけていて、歩道と車道の区
別がつきにくく危険です
誰にお願いすれば直してくれるのかを
教えてください

みんなの声を集めると
こんな風になるんだね



友だちの意見や大人のアドバイスを参考にしながら、自分の考えをふくらませていく子どもの姿がみられ、多様な人とのかわり合いから様々なよさを感じ取ることができたことは、子どもたちにとっても大人にとっても有意義であったと感じています。さらに、住みよいまちづくりのために、大人が行っていることや実際に改善されてきていることなどを聞いた子どもたちには、驚きと発見があり、感謝の気持ちをもつことができました。

活動④ 自分たちにできる「はじめの一步」を考え、今日の活動を振り返ろう

想像していた以上に、自分たちにできそうな活動が多岐にわたったため、まとまった話になりにくかったものの、子どもたち一人一人がよりよいまちづくりに向け、自分なりの思いや考えをもつことができたことは、大きな成果でした。これらの取組を子どもたちが具現化していくために、公民館も、しっかり見守り、これからは応援していきたいと思えます。

◆効果

改めて御休のことを考えさせられました。子どもたちの表情は真剣で、しっかりとした目線で身の回りのことを見ていたと思いました。日頃思っていることやこうなったらという夢を語り合える機会が地域全体に広がるといいな。保護者

タウンミーティングから半年、「歩道と車道の境界を示す白線が薄くなっていて危険」との子どもの要望に、立ち上がった地域の方はたちきのお陰で、きれいに白線が引き直されました。カーブミラーも、もうすぐ設置されるということです。暗いニュースが多い毎日ですが、このことを一日も早く中学生になった子どもたちに伝えてやりたいと思っています。地域の祭りで活躍する夢が、今年には叶わなかったけれど、自分たちの提言が住みよいまちづくりに役立っていることを実感した子どもたちの自己有用感が、より高まっていくことを期待しています。

中学生になっても仲間と協力して、多くの人たちが地域の行事に積極的に参加してくれるような活動を工夫していきたい。
6年児童